

平成 30 年度大学改革支援・学位授与機構 国際連携事業実施報告

平成 31 年 3 月 31 日
国際連携連絡会議

I. はじめに

大学改革支援・学位授与機構（以下「機構」）は、第 3 期中期目標（平成 26～30 年度）を踏まえた以下の国際連携事業に関する主要方針に基づき、近年の高等教育を取り巻く国際的な状況を踏まえながら、海外の高等教育の質保証に関する情報を収集し、調査研究を行い、その成果を国内外に発信している。さらに、海外の質保証機関等との積極的な情報交換や密接な連携による国際的な質保証活動を行っている。

<国際連携事業に関する主要方針>

- ・ 国内外の質保証機関との連携による我が国の評価制度全体の改善と高等教育の国際的な信頼性を高めるための活動を行う
- ・ 大学等との連携による大学等における質保証への支援

機構に設置された国際連携連絡会議（平成 27 年度まで国際連携企画室）は、平成 24 年度よりアクションプランを毎年策定し、研究開発部教員および国際課職員が協働し、国際連携活動を推進している。平成 30 年度においては、以下の 4 つの柱を設定し、柱ごとに活動計画をまとめ、各種活動を実施した。実施にあたっては、毎回の連絡会議において、方針等を協議するとともに、実施状況について確認を行った。また、国際連携連絡会議メンバーや国際課職員が収集した国際的な質保証動向等に関する情報や資料は、国際連携連絡会議メンバー間で共有し、機構内外に発信した。

平成 30 年度国際連携アクションプランの柱

- (1) 海外の高等教育および質保証に関する情報発信（国内発信）
- (2) 日本の高等教育および質保証に関する情報発信（海外発信）
- (3) 共同プロジェクトを含めた海外の質保証機関やネットワークとの連携事業の実施
- (4) 国際連携にかかる重点的調査研究

Ⅱ. 各テーマにおける実施内容

(1) 海外の高等教育および質保証に関する情報発信（国内発信）

アクションプラン

大学等における質保証活動への支援、および我が国の評価機関等における国際情勢を踏まえた高等教育の質保証活動に資するため、海外の高等教育や質保証に係る制度情報や改革等の動向について情報を収集、整理し、高等教育関係者へ提供する。

事業実施総括

(ア) 海外の高等教育質保証動向等に関する情報収集、整理および提供

海外の高等教育や質保証動向について、「別表」に掲げる調査項目を主眼に置きながら情報収集し、ウェブサイトや刊行物等により提供した。平成 30 年度は 92 件の記事を掲載、年 348,448 件の国際連携ウェブサイトおよび関連のウェブサイトへのアクセスがあった。

インフォメーション・パッケージに関して、「諸外国の高等教育における質保証システムの概要：韓国（第 2 版）」、また、「アジア地域の高等教育分野の質保証システムに関するブリーフィング資料」タイ編の改訂版を刊行した。

また、海外の高等教育や質保証動向の情報収集のため、国際会議・セミナーや国内会議等へ参加（37 件）した。

別表 <国・地域別の調査項目> ◎重要度の高い事項 ○キャパシティ次第で取り組む事項

国・地域名	テーマ
中国	◎「高等教育の質の全面的向上に関するガイドライン」の実施状況（機関評価、分野別（プログラム）評価） ◎中外共同運営教育評価の動向（中外共同運営教育条例の改訂） ○国家資格枠組、NIC 活動動向 ○CBQAN の活動動向
韓国	◎大学機関別評価認証の動向（評価結果等） ◎韓国教育部の実施する大学の基本能力診断の動向 ○NIC 活動の動向
ASEAN 諸国	◎ASEAN 域内における質保証枠組(AQAF)・資格枠組(AQRF)の動向 ○AIMS、SHARE プロジェクトを通じた国際交流活動（AUN、SEAMEO RIHED 等）の動向 ○質保証人材育成活動（評価者研修プログラム等）の動向 ○ASEAN 共同体に係る各国高等教育の動向 ○ASEM（特に ASEMME7(2019 年開催予定)の動向)
マレーシア	◎マレーシア資格枠組（MQF）レビューをはじめとする MQA の動向 ○学位・資格の相互認証の動向
インドネシア	◎プログラム・ア krediteーション実施機関（LAM-PT）設置の動向 ○ア krediteーション実施に関する動向（受審数など）
タイ	◎第 2 期外部評価（EQA）実施の動向 ◎高等教育省の設立に向けた動向 ○ONESQA の国際連携活動および評価者養成
ベトナム	◎機関別評価の動向 ◎国家資格枠組の動向 ○高等教育の国際化に向けた取組み（海外評価機関の評価受審の状況など）
台湾	◎第 2 期機関別評価活動の動向 ○プログラムの任意化の影響 ○台湾高等教育の国際通用性の向上に向けた質保証の取組み（国際教育評価含む）
香港	◎学位・資格に関する政策や質保証制度の動向（ア krediteーション基準の改訂）
欧州	◎欧州高等教育圏(EHEA)の動向（外国資格評価、学生中心の学習（SCL）等） ◎国際共同教育プログラムの共同評価に関する取組み（「欧州アプローチ」の実践） ◎EQAR や ENQA による国境を越えた質保証活動
英国	◎新たな質保証制度の動向（学生局、TEF（教育卓越性枠組）等） ○TNE レビューや英国の EU 離脱に関する動向
オランダ	(NVAO) ◎第 3 サイクルにおける評価制度の動向（共同ア krediteーションを含む） ◎国際化評価の動向（優良事例等） (Nuffic) ◎大学の国際化支援や外国資格評価の取組み
フランス	◎学術共同体評価の動向 ◎入学要件変更等、フランス高等教育制度に関する動向
ドイツ	◎高等教育質保証システム（ア krediteーション基準の改訂等）の動向 ◎国際共同教育プログラムの相互認証に係る動向
米国	◎高等教育制度の動向（高等教育法改正、資格認証等） ◎新たな質保証の取組み（リスクベース評価、コンピテンスベース評価等） ◎CIQG の動向
豪州	◎高等教育改革の動向（予算、奨学金、入学プロセス透明化、職業統合学習等） ◎TEQSA の質保証の取組み（質保証への学生参画、国境を越えた教育の質保証等）

ウェブサイトを通じた質保証動向記事等の発信

【1-ア）海外の高等教育質保証動向等に関する情報収集、整理および提供】

海外の高等教育や質保証の動向に関して収集した情報については、海外動向発信サイト「QA Updates-International」に、海外の動向記事として適時掲載し、国内向けの情報発信基盤の強化を図った。平成 30 年度の動向記事掲載件数は 92 件であった。

また、一般の動向記事の他、海外出張等で収集した情報等をヒントにした、テーマ別情報発信「QA なるほどピックス」の今年度の掲載件数は 7 件であった。

国際的な共同教育プログラムの質保証にかかる情報については、「共同教育プログラムのための質保証」ウェブサイトですべて発信を行っている。

[>> 共同教育プログラムのための質保証サイト](#)

インフォメーション・パッケージの作成・発信 – 各国の質保証制度にかかる基本情報 –

【1-ア）海外の高等教育質保証動向等に関する情報収集、整理および提供】

インフォメーション・パッケージにおける新たな刊行物として、平成 31 年 3 月に「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：韓国」の第 2 版を刊行し、国際連携ウェブサイトにて公開した。（右：同刊行物の表紙）



[>> 概要資料掲載ページ](#)

2013 年 9 月に当機構が刊行した「中国高等教育質保証 インフォメーション・パッケージ」の P.31 「◇審査評価（原語：審査評価）」について、その詳細をまとめた概要を、国際連携ウェブサイトにて公開した。

[>> 追補資料掲載ページ](#)

「タイのプリーフィング資料」については、平成 31 年 3 月に刊行し、国際連携ウェブサイトにて公開した。

また、「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：中国」の第 2 版、「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：英国」の第 3 版、「諸外国の高等教育分野における質保証システムの概要：米国」の追補資料、「香港のプリーフィング資料」について、刊行又は更新に向けた改訂作業を進めた。

(イ) 国際連携ウェブサイトの改善・充実、広報活動

メルマガ読者を対象に、関心のある高等教育政策や質保証の動向に関するオンラインアンケート調査等を実施し、発信内容の改善・充実及びアクセス数の向上につなげた。また、国際連携ウェブサイトの周知活動を積極的に行い、大学関係者等に周知を図るとともに、海外高等教育動向ニュース（メルマガ）の購読者数が増加（平成 28 年度 847 名→平成 29 年度 1,076 名→平成 30 年度 1,266 名）した。

ウェブサイトや概要資料の情報発信媒体の認知度を高めるため、主な広報活動としてチラシを作成し、各種会議等での配布による広報のほか、大学関係者が登録する大規模メーリングリストへの案内掲載や文科省が発行するメルマガでの広報などを行った。教育学術新聞への海外の質保証動向記事の定期掲載については、平成 30 年度中に 5 回掲載された。また、海外高等教育質保証動向ニュース（メルマガ）の配信について、平成 30 年度は特別号を含め、毎月配信（計 16 回）した。

以上の取組み等により、特に、海外の高等教育質保証等の最新動向を紹介しているウェブサイト「QA Updates-International」では、前年度比約 62%増の 70,206 件のアクセスがあった。

国際連携ウェブサイトの改善に向けた取組み

【1-イ）国際連携ウェブサイトの改善・充実、広報活動】

●メールマガジン外部発信ツール導入

メールアドレス管理をより厳格なものとするために、メールマガジン外部発信ツール「blastmail」を導入した。従来の Active mail を利用した配信方法よりも、メールアドレス情報が流出する危険性が減少し、個人情報管理上の安全性が高まった。

(ウ) フォーラムやセミナー開催による情報提供

平成 30 年度は、「国境を超える大学」をメインテーマに大学質保証フォーラムを開催し、大学の海外展開のメリットや課題について理解を深め、日本における大学の海外展開のあり方について、国内外の事例をもとに議論を深めた。

大学質保証フォーラムおよび海外関係者による講演会・研究会

【1-ウ）フォーラムやセミナー開催による情報提供】

● 大学質保証フォーラム

平成 30 年 8 月 6 日（月）に、平成 30 年度大学質保証フォーラム「国境を超える大学」を一橋講堂（竹橋）にて開催した。当日は、高等教育関係者を中心に 200 名を超える参加者が白熱した議論に耳を傾け、フォーラム終了後に実施したアンケート調査では、今後の海外展開に関する企画及び運営に役立つ先行事例を学ぶ貴重な機会であった等の回答があり、9 割以上の回答者から「大変良かった」、「良かった」の評価を得るなど好評を博した。



会場の様子

フォーラムでは、国内の少子化や教育のグローバル化等を背景として、近年、中央教育審議会でも言及されている海外キャンパスについて、米国、マレーシア、オランダ及び日本の大学から招へいた有識者より、海外キャンパス展開の世界的動向や、展開に当たってのメリット及び課題について学び、日本国内の大学における経営の戦略的選択肢として、どのような視点から海外キャンパス展開を検討すべきかについて議論を深めた。



パネルディスカッションの様子

プログラム前半では、米国ニューヨーク州立大学オールバニー校教育学部教育政策・リーダーシップ学科長 Jason Lane 氏、豪州モナシュ大学学長代理兼モナシュ大学マレーシア校学長 Andrew Walker 氏及びオランダ・フローニンゲン大学日本学センター長兼エラスムス・ムンドゥス ユーロカルチャー修士課程長 Janny de Jong 氏の 3 名より基調講演が行われた。

プログラム後半のパネルディスカッションでは、竹中研究開発部教授の進行のもと、東海大学副学長（国際・一貫教育担当）兼ハワイ東海インターナショナルカレッジ学長 吉川直人氏及び豊橋技術科学大学副学長（国際担当）兼グローバル工学教育推進機構長 松田厚範氏が、日本国内の大学における国際展開の取組事例や質保証などに係る課題、それらに対する自らの経験に基づく所見について発表した。その後、全登壇者による自由討論として、会場参加者からの質問を踏まえた活発な議論が行われた。

また、翌7日（火）には、フォーラムに登壇した3名の外国人有識者を招き、実践的なトピックを通じて海外キャンパスへの理解を深めるべく、日本の海外キャンパス展開に対する助言、本国と海外キャンパスのシナジー効果、質保証といったテーマを深く掘り下げるため公開研究会を開催した。

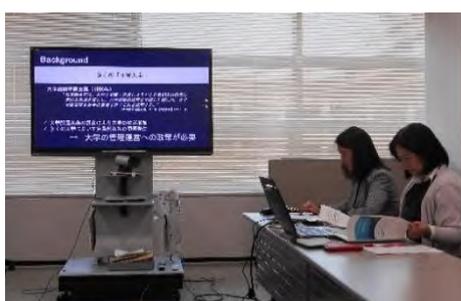
本フォーラムの報告書を作成し、当機構の国際連携ウェブサイトに掲載した。



[>> 報告書掲載ページ](#)

●国際連携事業報告会

- ・ 第1回報告会（香港 HKCAAVQ スタッフによる講演会）Dr. Kathy Chung (HKCAAVQ)
- ・ 第2回報告会（機構内向け：NICに関する情報共有）
- ・ 第3回報告会（機構内向け：TEQSA スタッフ交流出張報告）
- ・ 第4回報告会（機構内向け：韓国質保証概要の更新に伴う報告及び中国出張報告）



(2) 日本の高等教育および質保証に関する情報発信（海外発信）

アクションプラン

我が国の高等教育の質保証に係る国際的な信頼性を高めるうえで、機構は内外の質保証機関や評価機関と様々な連携協力をすすめることとしている。これらの活動に伴い、機構の行う事業のみならず、日本全体としての高等教育の質保証システム等の情報について、英文により精査し、海外の質保証関係者に対する情報発信を強化する。

事業実施総括

(ア) 日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化

日本の高等教育や質保証システムに関する情報を英文にして整備・充実させ、積極的に発信した。また、機構の評価事業に関する基礎資料・評価結果等についても、英文で情報発信を行なった。

さらに、主に海外で開催される国際会議（ワークショップやセミナーを含む）において、日本における高等教育質保証の取組みについて発表した。また、機構の各事業のニュース記事を英訳し、英文ウェブサイトに掲載した（計 14 件）。さらに、海外機関紙へ寄稿した（計 7 件）。

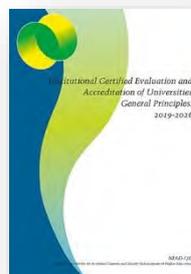
日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化

【2-ア）日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化】

● 3 巡目の大学機関別認証評価実施大綱及び大学評価基準の英訳版刊行

3 巡目（平成 31 年度～）の大学機関別認証評価実施大綱及び大学評価基準の英訳版を刊行し、電子版を機構のウェブサイトで公開した。

[>> 掲載ページ](#)



大学機関別認証評価：
実施大綱（英訳版）



大学機関別認証評価：
大学評価基準（英訳版）

● Higher Education Evaluation and Development (HEED) (2018 年号)

台湾 HEEACT が APQN と共同で発行する英文学術誌「Higher Education Evaluation and Development (HEED)」に、当機構（野田客員准教授、渋井准教授）と台湾 HEEACT との共同論文「Restructuring quality assurance frameworks: A comparative study between NIAD-QE in Japan and HEEACT in Taiwan」を投稿した。



[>> HEED \(Volume 12 Issue 1\)](#)

●APQNews (2018年6月号)

アジア太平洋質保証ネットワーク (APQN) のニューズレターの2018年6月号に、当機構と中韓の質保証機関による「キャンパス・アジア」の共同モニタリングが、APQN Quality Award2018を受賞した旨の記事が掲載された。

[>> APQNews \(Issue 17, 2018\)](#)



●APQNews (2018年12月号)

アジア太平洋質保証ネットワーク (APQN) のニューズレターの2018年12月号に平成30年度大学質保証フォーラムに関する記事が掲載された。

[>> APQNews \(Issue 18, 2018\)](#)



●INQA AHE Bulletin (2018年6月号)

国際的な質保証機関のネットワークである INQA AHE の定期会報「INQA AHE Bulletin」に、当機構と中韓の質保証機関による「キャンパス・アジア」の共同モニタリングが、APQN Quality Award2018を受賞した旨の記事が掲載された。

[>> INQA AHE Bulletin June 2018](#)



●INQA AHE Bulletin (2018年12月号)

国際的な質保証機関のネットワークである INQA AHE の定期会報「INQA AHE Bulletin」に、大学ポートレート (国際発信版) に関する紹介記事が掲載された。

[>> INQA AHE Bulletin December 2018](#)



●「高等教育分野における質保証システムの概要：日本」の第3版

インフォメーション・パッケージにおける「高等教育分野における質保証システムの概要：日本」の第3版について、刊行に向けた改訂作業を進めた。

●用語集第5版作成

高等教育に係る最新動向を踏まえた実践的な用語集として、第5版を刊行するため、プロジェクトを開始した。専門職大学及び専門職短期大学の制度化等の近年の動向を踏まえ、収録する用語や掲載する関連情報の検討を行った。収録用語等の検討にあたっては、平成30年7月から9月に実施した国内の大学や評価機関及び文部科学省等に対するオンラインアンケートの回答（281件）も実施した。これらを受け、収録予定用語に対する解説文（日本語版原案）の作成を進めた。

国際会議・セミナーでの機構からの発表実績

【2-ア）日本の高等教育および質保証に関する情報発信の整備・強化】

<平成30年度機構からの発表実績と発表タイトル>

日程・場所	会議名称	発表者	発表テーマ
H30.10 韓国	第1回東京規約締約国委員会	吉川教授	<i>Updates on national implementation plans</i>
H31.3 スリランカ	INQAAHE 隔年総会 2019	森教授 金准教授 渋井准教授	<i>UNESCO Global Convention and establishment of an NIC in Japan</i> <i>Assessment of Learning Outcomes and Internal Quality Assurance Building in Higher Education in Japan and Taiwan: The Role of External Quality Assurance Agencies and Universities</i> (野田客員准教授)
H31.3 スリランカ	APQN2019 総会	金准教授 蝶助教	<i>External and Internal Quality Assurance Systems in Education: A Comparative Study between NIAD-QE in Japan and KUI in Korea</i>

(イ) 機構英文ウェブサイト等の改善・充実

機構のウェブサイトのリニューアル計画に留意しつつ、機構の事業に関する英文情報のタイムリーな提供・更新等を通じて、機構英文ウェブサイトの充実を図った。

機構英文ウェブサイトの改善・充実

【2-イ）機構英文ウェブサイトの改善・充実】

●機構事業ニュースの海外発信

機構の事業の国際的な発信力強化を目的として、「機構ニュース」の掲載記事を英訳し、英文ウェブサイトに掲載した。掲載記事は、評価担当者向け研修会、学位授与事業の実績、大学質保証フォーラム、海外覚書締結機関とのスタッフ交流、新規刊行物の紹介など、計23件にのぼった。

[>> 機構ニュース英文記事](#)

(3) 共同プロジェクトを含めた海外の質保証機関やネットワークとの連携事業の実施

アクションプラン

覚書締結機関を中心に、海外の質保証機関と共同のプロジェクトの実施等を通じて相互理解・信頼関係を深めると同時に、我が国の評価制度の改善や大学間交流プログラムの質保証に貢献する。

また、我が国の高等教育への国際的な信頼性を高めるため、国際的な質保証活動に積極的に参画し、関係機関と協力して活動を行う。

事業実施総括

(ア) 日中韓連携

「キャンパス・アジア」モニタリング⁺は、「キャンパス・アジア」採択プログラムを質保証の側面から支える日中韓 3 カ国の取組として実施している。平成 25 年に各国の質保証機関がそれぞれ 1 次モニタリングを実施、平成 27 年は日中韓の質保証機関が共通の枠組みを構築した上で、2 次モニタリング（共同モニタリング）を実施し、平成 30 年のモニタリング⁺では、これまでのモニタリングを通じて共通の質保証の枠組みが構築できたこと並びに、日中韓の質保証機関間で相互信頼が深化したことを踏まえ、モニタリング対象となる新規採択の 9 プログラムを、3 か国の質保証機関で 3 プログラムずつ分担してモニタリングを実施した。

日中韓質保証機関連携と「キャンパス・アジア」モニタリング

【3-ア）日中韓連携 ―プロジェクトの実施―】

日中韓 3 カ国による質保証機関連携は、「キャンパス・アジア」におけるモニタリング活動を中心とし、中国・韓国の質保証機関と協議・調整を図りながら、通年事業として実施した。

● 日中韓連携

平成 29 年 11 月に開催された第 7 回日中韓質保証機関協議会（於：韓国・ソウル）での合意事項に基づき、協議会のプロジェクトグループの活動を行った。

● 日中韓モニタリングのモニタリング活動

日中韓 3 カ国の質保証機関が平成 30 年度から実施する「キャンパス・アジア」モニタリング⁺について、平成 30 年 5 月にモニタリングの対象となる日本の大学に説明会を機構で開催した。

平成 30 年 6 月北京 HEEC を表敬訪問し、両機関の事業紹介や今後の連携方策等について会談を行ったほか、モニタリング⁺担当者と実務的な打合せ及び「高等教育分野における質保証システムの概要（中国）」第 2 版作成に向けた情報収集を行った。

平成 30 年 9 月機構で開催したモニタリング⁺のワーキンググループでは、KCUE からは実務者が 3 名参加、HEEC からはテレビ会議を通して 2 名参加し、各国におけるモニタリングに関わる進捗状況の共有が図られたほか、モニタリングの実施プロセスの確認に加え、最終的に一般公表される共同モニタリング報告書などについて協議を行った。

平成 30 年 12 月 HEEC が中国上海市にある上海海洋大学の「キャンパス・アジア」プログラムに実施したモニ

タリング+の訪問調査にオブザーバ参加し、HEEC の訪問調査及びモニタリング手法についてオブザーブするほか、「キャンパス・アジア」プログラムの質保証における実態及び取組について確認した。

また、同月「キャンパス・アジア」共同モニタリング部会国内部会（第1回）を機構で開催し、機構がモニタリングを担当する「キャンパス・アジア」プログラムの取組状況、訪問調査のスケジュール、訪問調査での確認事項等について協議を行った。

平成30年12月の訪問調査オブザーバ参加と同様に、平成31年2月22日 KCUE が釜山広域市にある釜山大学の「キャンパス・アジア」プログラムに実施したモニタリング+の訪問調査にオブザーバ参加した。

平成31年の1月及び2月は、機構がモニタリング+を担当の「キャンパス・アジア」プログラムを実施する3大学（大阪大学、早稲田大学、東京大学）でモニタリング+の訪問調査を実施し、各プログラムの質保証における優れた取組等について確認した。

（イ）欧米やアジア太平洋との連携

海外の覚書締結機関を中心として、これまで築き上げた関係を基盤に、共同プロジェクトや人的交流、連携した取組みを展開した。また、香港 HKCAAVQ、豪州 TEQSA、台湾 HEEACT と、業務に関する情報・知見の交換を目的としたスタッフ交流を実施した。（香港 HKCAAVQ：平成30年6月、豪州 TEQSA：平成30年10月、台湾 HEEACT：平成30年11月）

この他、覚書締結機関や海外の交流機関とは、APQN や INQAAHE 等の国際的ネットワークの会議をはじめ、高等教育の質保証に関する国際会議で、情報交換や連携協力にかかる協議を行い、人的ネットワークの拡大とともに、既にある連携体制の強化を図った。

●香港 HKCAAVQ スタッフによる機構訪問プログラム

当機構と香港学術及職業資歴評審局（HKCAAVQ：Hong Kong Council for Accreditation of Academic and Vocational Qualifications）の覚書に基づく協力として、第2回スタッフ交流プログラムを、平成30年6月11日（月）から14日（木）の4日間、当機構にて実施した。HKCAAVQ 側より、評価実務を担う職員1名が参加した。本プログラムは、両機関が有する質保証に関する情報・知見の交換や、協力関係の深化を目的として実施している。当機構の教職員から大学評価、学位授与、国際連携、調査研究等の各事業の説明を行ったほか、香港側から HKCAAVQ の行う、香港資格登録簿への登録に係るプログラム評価の実務などについて説明を受け、相互の業務についての理解を深めた。



職員との記念撮影（中央前列左から4番目が Chung 氏）

●豪州 TEQSA 訪問スタッフ交流プログラム

機構と TEQSA との覚書に基づく協力事業の一環として、平成 30 年 10 月 22 日（月）から 26 日（金）の 5 日間、オーストラリア・メルボルンにある TEQSA にて第 4 回スタッフ交流プログラムが実施され、機構職員が訪問した。プログラムでは TEQSA の規制・監督業務等について情報収集、意見交換を行ったほか、機構の事業及び日本の高等教育制度の概要についてのプレゼンテーション、私立の教育機関である Academy of Information Technology Pty Ltd の訪問調査への同行、TEQSA のコミッションミーティングの傍聴等を行った。

●台湾 HEEACT

機構と HEEACT の覚書に基づく協力事業として、HEEACT の職員とのスタッフ交流プログラムを平成 30 年 11 月 18 日（日）から 21 日（水）の 4 日間、HEEACT の所在する台湾の台北市にて実施し、機構教職員が参加した。プログラムでは、HEEACT の実施する機関別評価の国立陽明大学への訪問調査にオブザーバ参加するなど、評価実務について情報収集及び意見交換を行った。また、国立政治大学を訪問し、教育学院の博士課程の学生に日本の内部質保証制度について説明を行った。

（４）国際連携にかかる重点的調査研究

アクションプラン

平成 30 年度は、大学等における質保証を伴った国際的な共同教育プログラムの展開および国際的な学生移動に伴う外国学習履歴の正当な審査を支援していくための重点的調査研究として、平成 25 年度から平成 27 年度までの 3 年間、文部科学省補助事業として実施した 1) 東アジアにおける国際的な共同教育プログラムの質を保証するための手法に関する調査および 2) 国際的な学生移動（モビリティ）に伴い国内外の高等教育機関に必要とされる情報提供事業の在り方に関する調査（通称：モビリティ調査）の成果を踏まえて、平成 29 年度に引き続き、機構の事業や大学等の支援につなげるための調査研究活動を行う。

各調査の趣旨および事業実施総括

（ア）国際的な共同教育プログラムの質を保証するための手法に関する調査 （東アジア調査）

● 調査の趣旨

日本の大学の国際化、特に国際的な共同教育プログラムの推進に資するため実施した調査（「国際共同教育プログラムにおける大学の内部質保証システムに関する調査」）結果の分析を進め、共同プログラムを実施する大学の具体的なニーズを把握する。さらに質の高いプログラムの継続的な実施に要求される要素を抽出し、その結果を大学に情報提供する。また平成 29 年度に海外質保証機関を対象に実施した「国際共同教育プログラムにおける質保証の認識に関する調査」のデータを分析し、日本と海外の国際共同教育プログラムの質保証の在り方における示唆点を得る。

● 平成 30 年度の実施総括

「国際共同教育プログラムにおける大学の内部質保証システムに関する調査」で行ったヒアリング調査の結果を分析した。その結果を各大学に還元するとともに、より広い国際共同教育プログラムに関わる関係者への情報提供と意見交換を行うため、NIAD-QE Webinar2019「国際共同教育プログラムにおける質保証の在り方：国際共同教育プログラムの運営を成功に導く体制・組織とは」を開催した（平成 31 年 2 月 5 日）。開催後には参加登録者を対象に内容や Webinar 運営に関するアンケートを実施した。また、関連資料を機構のウェブサイトに掲載した。

さらに、平成 29 年度までに作成した、東アジアにおける国際的な共同教育プログラムの質保証に関わるチェックリストをさらに広範囲に適用させることを目的とした、外国の質保証機関へのアンケート調査を行い、12 機関から回答を得てその分析を進めた。

すべての調査内容は報告書として取りまとめた。

(イ) 外国学修履歴の国際的な認証 (Recognition) 促進のための教育情報整理に向けた調査

● 調査の趣旨

国際課職員と研究開発部教員から成る「NIC 調査研究ワーキング・グループ」を設置し、日本の教育制度や高等教育機関一覧の海外発信に向けた調査及び国際的な学生移動や外国資格評価に関する国内外動向の調査等を教職協働で行った。

● 主な成果

(1) 日本の教育制度等の海外発信

▶ 日本の高等教育機関一覧 (和・英) 調査

- ・専修学校 (専門課程) 一覧作成 (再調査の実施)

平成 29 年度に実施した専門学校への英語の機関名称・課程名称等に関する調査において未回答であった専門学校に対して再調査 (督促) を実施した。

- ・専修学校 (専門課程) 一覧作成 (平成 30 年度調査の実施)

平成 30 年度の専門学校のデータ更新として専門学校への英語の機関名称・課程名称等に関する調査を実施した。

- ・専修学校以外の機関種の一覧作成 (大学、短大、高専)

平成 29 年度に文部科学省から大学、短期大学、高等専門学校の機関情報として提供を受けたデータについてウェブサイトへの掲載項目の確認及掲載用に加工を行った。

▶ 日本の高等教育制度情報調査

- ・日本の高等教育情報記事の作成

海外に発信する日本の教育制度情報について「構成・項目」の検討を経て、教育情報記事 (日本語版) の作成を行った。

(2) 国際的な学生移動や外国資格評価に関する国内外動向の調査・情報収集

▶ 資格評価に関する調査

- ・日本における外国資格評価の需要等に関する調査 (業務委託による実施)

大学への入学希望者の外国学習歴・教育資格に照らした入学要件の有無の確認 (入学資格審査/評価) をパイロット的に実施することを通して、実務的な資格評価手法や、資格評価に必要な実施体制の在り方、及び大学における第三者機関による資格評価サービスに対する需要の有無等について調査を実施した。

- ・日本における外国資格評価の需要等に関する調査 (機構による実施)

日本の大学等における外国での学習歴を有する者 (外国人留学生) への入学資格審査の実施状況や、第三者機関による判断の難しい個別案件への助言サービスへのニーズを把握するため、NIC 調査研究ワーキング・グループの協力のもと、アンケート調査を実施した。本調査に回答した学校を対象にサマリーを送付した。

▶ 諸外国の教育制度に関する調査

- ・諸外国の教育制度に関する調査 (ネパール・スリランカ)

近年日本への留学者が増加傾向にあるネパール・スリランカの 2 カ国についてそれぞれの国の教育制度、質保証制度について調査を実施した。

(3) 国内外への情報発信ツールの構築

▶日本の教育情報発信ウェブサイトの構築

各種調査等を国内外に公表するツールとして「日本の教育情報発信ウェブサイト」の構築するため、研究開発部教員及び機構内の情報システムに知見のある職員を構成員とする「ウェブサイト検討チーム」を設置し、仕様の検討、調達、システム開発を実施した。

(ウ) 台湾 HEEACT との INQAAHE 研究プロジェクトの実施

●調査の趣旨

INQAAHE 研究補助金プログラムに採択され、日本と台湾の大学および質保証機関における学習成果評価や内部質保証システムの現状や課題について、当機構と台湾 HEEACT 間で比較共同研究を行った。

●主な成果

共同研究にあたり、複数回の TV 会議など HEEACT との密な研究交流を進め、共著論文が査読付国際学術誌 (Higher Education Evaluation and Development) に掲載された。また INQAAHE 研究補助金プログラムの成果については、「Assessment of Learning Outcomes and Internal Quality Assurance Building in Higher Education in Japan and Taiwan: The Role of External Quality Assurance Agencies and Universities」と題し、最終報告書を INQAAHE に提出するとともに、本成果を INQAAHE 総会 2019 にて発表した。

(エ) 韓国 KCUE-KUAI との質保証枠組に関する比較共同研究

●調査の趣旨

韓国と日本の質保証手法 (質保証システムの発展過程、質保証枠組み等) について、NIAD-QE と韓国 KCUE-KUAI 間で比較共同研究を実施した。

●主な成果

機構と KCUE-KUAI の担当者間での議論を経て、質保証システムの発展過程、当機構と KCUE-KUAI の質保証枠組み、制度としての課題について文献レビュー及び複数回の TV 会議などを実施した。調査結果は“External and Internal Quality Assurance Systems in Higher Education: A Comparative Study between NIAD-QE in Japan and KUAI in Korea”と題し、APQN Annual Academic Conference (AAC) 2019 にて発表するとともに最終報告書として取りまとめた。

本文に出現する主な頭文字語の正式名称（アルファベット順）

●機関・ネットワーク名 ※機関名称に国名を含まない場合は機関名の後に国名を付記

APQN（エーピーキューエヌ）

Asia-Pacific Quality Network
（アジア太平洋質保証ネットワーク）

ASEM（アセム）

Asia-Europe Meeting
（アジア欧州会合）

AUN（エーユーエヌ）

ASEAN University Network
（ASEAN 大学連合）

BAN-PT（バンピーティー）

Badan Akreditasi Nasional Perguruan Tinggi
（国立高等教育アクレディテーション機構（インドネシア））
[英文機関名称] National Accreditation Agency for
Higher Education（NAAHE）

CBQAN（シービーカン）

Cross-Border Quality Assurance Network
（国境を越えた教育（クロスボーダー教育）の質保証のため
のネットワーク）

CHEA（チエア）

Council for Higher Education Accreditation
（高等教育アクレディテーション協議会（米国））

CIQG（シーアイキュージー）

CHEA International Quality Group
（CHEA 国際質グループ）

GAC（ジー エー シー）

German Accreditation Council
（ドイツアクレディテーション協議会）

HCERES（アッシュ）セレス）

Haut conseil de l'évaluation de la recherche et
de l'enseignement supérieur
（研究・高等教育評価高等審議会（フランス））
[英文機関名称] High Council for Evaluation of
Research and Higher Education

HEEACT（ヒーアクト）

Higher Education Evaluation and Accreditation
Council of Taiwan（台湾高等教育評鑑中心基金会）

HEEC（エイチイーイーシー）

Higher Education Evaluation Center of the
Ministry of Education
（教育部高等教育教学評価センター（中国））

HKCAAVQ（エイチケーシーエーエーブイキュー）

Hong Kong Council for Accreditation of Academic
and Vocational Qualifications
（香港学術及職業資歴評審局）

INQA AHE（インクアヘ／インクアヒ）

International Network for Quality Assurance
Agencies in Higher Education
（高等教育質保証機関の国際ネットワーク）

KCUE（ケーシーユーイー）

Korean Council for University Education
（韓国大学教育協議会）

KUAI（クワイ）

Korean University Accreditation Institute
（韓国大学評価院）

MQA（エムキューイー）

Malaysian Qualifications Agency
（マレーシア資格機構）

Nuffic（ヌフィック）（旧 EP-Nuffic）

（オランダ高等教育国際協力機構）

NVAO（エヌブイイーオー）

Nederlands-Vlaamse Accreditatieorganisatie
（オランダ・フランダースアクレディテーション機構）
[英文機関名称] Accreditation Organisation of the
Netherlands and Flanders

ONESQA（オネスカ）

Office for National Education Standards and
Quality Assessment
（全国教育水準・質評価局（タイ））

QAA（キューイーイー）

Quality Assurance Agency for Higher Education
（高等教育質保証機構（英国））

SEAMEO RIHED (シーメオ ライヘッド)

Southeast Asian Ministers of Education
Organisation Regional Centre for
Higher Education and Development
(東南アジア教育大臣機構・高等教育開発センター)

TEQSA (テクサ)

Tertiary Education Quality and Standards Agency
(高等教育質・基準機構 (オーストラリア))

●その他**AIMS (エイムス)**

ASEAN International Mobility for Students
Programme
(ASEAN 学生交流プログラム)

AQAF (イーキューイーエフ)

ASEAN Quality Assurance Framework
(ASEAN 質保証枠組)

AQRF (イーキューアールエフ)

ASEAN Qualifications Reference Framework
(ASEAN 資格参照枠組)

FCE (エフシーイー)

Foreign Credential Evaluation
(外国資格評価・認証)

EQAR (エカー)

European Quality Assurance Register for Higher
Education
(欧州高等教育質保証機関登録簿)

NIC (エヌアイシー)

National Information Center
(国内情報センター)

※「高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約」において各締約国が高等教育に関する情報を提供するために設立することとされているセンター。

TEF (テフ)

Teaching Excellence and Student Outcomes
Framework
(卓越性資格枠組)